

証券コード 4650
平成26年6月6日

株 主 各 位

札幌市中央区南3条西1丁目8番地

株式会社 **ゲオディノス**
代表取締役社長 河野 正

第60回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第60回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができませんので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成26年6月23日（月曜日）午後6時までに到着するようご返送いただきたくお願い申しあげます。

敬 具

記

1. 日 時 平成26年6月24日（火曜日）午前10時
2. 場 所 札幌市中央区南2条西6丁目
ホテルサンルートニュー札幌 2階羊蹄
(会場が昨年と異なっておりますので、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照くださいますようお願い申しあげます。)
3. 目的事項
報告事項 第60期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）事業報告及び計算書類報告の件
決議事項
第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 定款一部変更の件
第3号議案 取締役4名選任の件
第4号議案 監査役1名選任の件

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

- ◎「計算書類の個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、本招集ご通知提供書面には記載しておりません。
- なお、会計監査人及び監査役が監査した計算書類には本提供書面記載のもののほか当社ウェブサイトに掲載している個別注記表が含まれております。
- ◎株主総会参考書類並びに事業報告及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

《当社ウェブサイト》 <http://www.geodinos.jp/>

## (提供書面)

# 事業報告

(平成25年4月1日から  
平成26年3月31日まで)

## 1. 会社の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当事業年度におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや各種政策の効果が下支えするなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、緩やかな景気回復がみられました。

このような状況のなか、当社の経営の基本方針である『人々に《楽しむ》を提供し、明日の幸せをお届けします。』の経営理念のもと、一層の経営の効率化を図り、収益力の強化に取り組んでまいりました。

平成26年1月16日付にて、親会社が株式会社ゲオホールディングスより健康コーポレーション株式会社に変わりましたが、グループの経営理念(ミッション)、「わたくしたちは、世界でいちばん、イキイワクワクした『けんこう (KENKOU)』をつくり、『えがお (EGAO)』、『かがやき (KAGAYAKI)』、『ありがとう (ARIGATOU)』を世界中に広めます。」は、当社の目指すところと一致し、心機一転、さらなる発展へ向けて大きなシナジー効果が出るものと確信しております。

その結果、当事業年度売上高は82億45百万円(前事業年度比1.5%減)、営業利益は2億68百万円(同18.9%増)となり、経常利益は1億16百万円(同86.6%増)、当期純損失は減損損失4億2百万円及び事業構造改善引当金繰入額1億37百万円等の特別損失を計上したことにより、4億84百万円(前事業年度は純利益59百万円)となりました。

### 事業部別の概況

#### (GAME事業部)

GAME事業部につきましては、UFOキャッチャーに代表されるプライズ機の景品を取れやすくすること(原価率重視からペイアウト率重視へ転換)、メダルゲームの貸出枚数を大幅に増加させる(時間消費型レジャーへの方針転換)等の施策が効果を上げたこと、太鼓の達人をはじめとする音楽ゲームが好調に推移しましたが、「ゲオパークじょいくる一ず店」の閉店(平成24年11月)、効率を重視し「ゲオパーク八街店」及び「リト

ルパーク」の一部を前グループ会社に移管（平成25年10月よりゲームコーナーの運営から、ゲーム機レンタルのみに切替）したことなどにより、売上高は31億83百万円（前事業年度比2.0%減）となりました。

（フィットネス事業部）

フィットネス事業部につきましては、健康意識の高まりにより、利用者及び会員数が増えたこと、加圧トレーニング導入効果など会費以外の収入が増えたこと、前事業年度にオープン（平成25年1月）した女性専用の「ホットヨガスタジオ ハーティノルベサ」（札幌市）が寄与したことなどにより、売上高は23億78百万円（同1.7%増）となりました。

（ボウリング事業部）

ボウリング事業部につきましては、健康増進レジャーとして、ボウリング教室等をシニア層向けに開催したり、プロショップ「ベガ」（ボウリング用品専門店）を3店舗内にオープンし、物販収入が増えましたが、夜間を中心とした一般客や冬季オリンピック開催期間の来場者数が減少したことなどにより、売上高は12億18百万円（同4.3%減）となりました。

（施設管理事業部）

施設管理事業部につきましては、「シネマ」において、映画業界の2013年度興行収入は1,942億37百万円（前年度比0.5%減）となり、当社では「モンスターズ・ユニバーシティ」、「風立ちぬ」などヒット作の上映やODS（非映画デジタルコンテンツ）の上映作品が増えたことなどにより、堅調に推移しましたが、ヒット作に恵まれた前期には及ばず、売上高は7億50百万円（同1.0%減）となりました。「その他」においては、前事業年度に1店舗を飲食店として他社へ賃貸し（平成24年12月）、不動産賃貸収入が増加したことなどにより、売上高は2億23百万円（同3.1%増）となりました。

（その他）

その他のカフェ事業等につきましては、割引クーポンの発行やシニア割引、また飲食のテイクアウト等の施策を実施し、下げ止まりの兆しが見えはじめましたが、不採算店舗であった「ゲオカフェ秋田東通店」（平成25年11月）及び「ゲオカフェー宮音羽店」（平成25年12月）の閉店による影響などにより、売上高は4億90百万円（同8.1%減）となりました。

## ② 事業部別売上高

当事業年度の事業部別の売上高は次のとおりであります。

| 事業部            | 当事業年度<br>(自 平成25年4月1日<br>至 平成26年3月31日) | 前期比 (%) |
|----------------|----------------------------------------|---------|
| GAME事業部 (千円)   | 3,183,879                              | △2.0    |
| フィットネス事業部 (千円) | 2,378,387                              | 1.7     |
| ボウリング事業部 (千円)  | 1,218,751                              | △4.3    |
| 施設管理事業部 (千円)   | 974,147                                | △0.1    |
| (シネマ) (千円)     | (750,680)                              | (△1.0)  |
| (その他) (千円)     | (223,466)                              | (3.1)   |
| その他 (千円)       | 490,318                                | △8.1    |
| 合計 (千円)        | 8,245,483                              | △1.5    |

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- 平成26年3月1日の組織変更に伴い、「GAME運営部」、「フィットネス運営部」及び「ボウリング運営部」をそれぞれ、「GAME事業部」、「フィットネス事業部」及び「ボウリング事業部」に名称変更し、「ディノス施設運営部」を「施設管理事業部」に名称変更しております。また、「カフェ運営部」に含めていた1店舗を「ボウリング事業部」に変更し、その重要性が減少しましたので、「その他」に変更しております。前事業年度比については、当該変更を反映した前期の数値を用いております。
- 施設管理事業部の(その他)は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。
- 施設管理事業部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。

## ③ 設備投資の状況

当事業年度中において実施した設備投資の総額は7億77百万円（有形リース資産5億45百万円含む）であり、このうち主なものは、次のとおりであります。

- ・ボウリング設備機器（平成25年12月完工）
- ・既存施設のLED改修工事（平成26年3月完工）
- ・既存施設のアミューズメント機器の増設及び更新

## ④ 資金調達の状況

設備投資等の資金に充当するため、長期借入金及び社債の発行にて21億20百万円の調達を実施いたしました。

なお、当期末の有利子負債残高は50億60百万円となりました。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

| 区 分                    | 第57期<br>平成22年度 | 第58期<br>平成23年度 | 第59期<br>平成24年度 | 第60期(当期)<br>平成25年度 |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| 売 上 高                  | 8,663,734      | 8,295,632      | 8,370,918      | 8,245,483          |
| 経 常 利 益                | 160,671        | 23,407         | 62,499         | 116,626            |
| 当期純利益又は純損失(△)          | 43,361         | △103,822       | 59,729         | △484,839           |
| 1株当たり当期純利益<br>又は純損失(△) | 10円13銭         | △24円38銭        | 14円3銭          | △114円20銭           |
| 総 資 産                  | 10,246,168     | 10,725,583     | 10,417,135     | 9,930,891          |
| 純 資 産                  | 2,426,533      | 2,339,760      | 2,376,731      | 1,891,769          |

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は純損失(△)は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により算出しております。

2. 第58期については遡及処理後の数値を記載しております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社の状況

当社の親会社は健康コーポレーション株式会社で、同社は当社の株式3,100千株(議決権比率73.05%)を保有いたしております。

当社は親会社より、役員の兼務等の関係があります。

### ② 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

### ③ 企業結合の経過

平成26年1月16日付で公開買付に伴い、健康コーポレーション株式会社が親会社となりました。

## (4) 対処すべき課題

景気回復の兆しが見られるとはいえ、生活必需品ではない当社事業領域への支出が抑制されることが当面予想されます。一方では、このような時勢だからこそ、人々に憩いと潤いを与える「安・近・楽」レジャーの社会的ニーズが高まっているとも言えます。

当社は、新たに健康コーポレーショングループ入りを機に、以下の3点を重点課題と位置づけ、持続的成長が可能な体制の構築並びに具体的な諸施策を実行してまいります。

### ① 既存事業の強みの最大化

- a. 上昇基調にあるフィットネス事業
- b. シニア層を取り込んでいる健康ボウリング

- c. 同業他社にはない事業領域（ゲーム事業・ボウリング事業・シネマ事業・フィットネス事業・カフェ事業）とのシナジー

上記の強みの最大化を実現すべく、現場力を高めるインセンティブ制度の導入・社内動画配信インフラ構築を含む社内コミュニケーションの強化を推進してまいります。

- ② 健康コーポレーショングループとのシナジーとの最大化
  - a. パーソナルトレーニングジム「RIZAP」ノウハウとのフィットネス・健康ボウリングとの連動
  - b. 通販事業や「RIZAP」事業でつちかった集客及び会員リピーター率アップのための広告宣伝・販促ノウハウの利用
  - c. グループ会社入りしたスマホアプリ制作会社との業務提携による会員サービスの強化並びに既存アミューズメント施設への新しい《楽しみ》《楽しみ方》の提供
- ③ 積極的な発展の妨げとなっている財務体質の改善による株主価値の向上
  - a. 利益率アップによる自己資本比率上昇
  - b. 将来の金利上昇懸念に備えた有利子負債に過度に依存した経営からの脱却

#### (5) 主要な事業内容（平成26年3月31日現在）

当社は、GAME事業部、フィットネス事業部、ボウリング事業部、施設管理事業部及びその他の事業を行っておりますが、各事業部の事業内容は以下のとおりであります。

- ① GAME事業部  
ディノスパーク（複合施設内の大型ゲーム施設）、ゲオパーク（中規模ゲーム施設）及びリトルパーク（ゲオメディアショップ内に併設したゲームコーナー）の運営を行っております。
- ② フィットネス事業部  
フィットネス施設の運営を行っております。
- ③ ボウリング事業部  
ボウリング場及びゴルフ・バーの施設を運営しております。
- ④ 施設管理事業部  
映画館の運営及び土地・建物の賃貸収入等であります。
- ⑤ その他  
ネットカフェ等の運営を行っております。

(6) 主要な営業所 (平成26年3月31日現在)

本 社 : 札幌市中央区南3条西1丁目8番地

営業店舗 : 北海道(札幌市7店、旭川市2店、帯広市2店、北見市1店、  
釧路町1店、苫小牧市1店、室蘭市1店、伊達市1店、函館  
市1店)

青森県(青森市1店) 秋田県(秋田市1店)

福島県(郡山市1店) 埼玉県(所沢市1店)

千葉県(銚子市1店、旭市1店)

東京都(国立市1店) 静岡県(富士市1店)

岐阜県(可児市1店) 愛知県(豊橋市1店、

名古屋市3店) 三重県(津市2店、桑名市1店)

京都府(福知山市1店) 大阪府(大阪市1店)

香川県(丸亀市1店) 高知県(四万十市1店)

福岡県(北九州市2店) 沖縄県(沖縄市1店)

※ リトルパーク除く

(7) 使用人の状況 (平成26年3月31日現在)

| 使用人数      | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|-----------|-----------|-------|--------|
| 227(377)名 | 減9(減30)名  | 38.1歳 | 9.4年   |

(注) 使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (平成26年3月31日現在)

| 借入先           | 借入額         |
|---------------|-------------|
| 株式会社北洋銀行      | 1,375,940千円 |
| 株式会社商工組合中央金庫  | 523,742千円   |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 156,368千円   |
| 株式会社北海道銀行     | 154,840千円   |
| 株式会社新生銀行      | 66,800千円    |
| 札幌信用金庫        | 60,000千円    |
| 株式会社三井住友銀行    | 50,735千円    |
| 株式会社みずほ銀行     | 36,310千円    |



## 2. 株式の状況（平成26年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 14,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 4,303,500株  
 (3) 株主数 1,685名  
 (4) 大株主（上位10名）

| 株 主 名             | 持 株 数   | 持 株 比 率 |
|-------------------|---------|---------|
| 健康コーポレーション株式会社    | 3,100千株 | 73.04%  |
| 株式会社北洋銀行          | 212千株   | 4.99%   |
| 河野正               | 151千株   | 3.56%   |
| グオデインノス<br>従業員持株会 | 62千株    | 1.46%   |
| 株式会社セガ            | 37千株    | 0.87%   |
| 中道リース株式会社         | 37千株    | 0.87%   |
| オリックス株式会社         | 20千株    | 0.47%   |
| 株式会社つうけん          | 15千株    | 0.36%   |
| 日本生命保険相互会社        | 13千株    | 0.31%   |
| 三和サービス株式会社        | 11千株    | 0.26%   |

- (注) 1. 当社は、自己株式を59,494株保有しておりますが、上記大株主からは除外しておりません。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しており、また小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

### 3. 会社役員 の 状況

#### (1) 取締役及び監査役の状況（平成26年3月31日現在）

| 会社における地位 | 氏 名   | 担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                              |
|----------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役会長    | 瀬戸 健  | 健康コーポレーション株式会社代表取締役<br>株式会社ジャパンギャルズ取締役<br>RIZAP株式会社代表取締役<br>エムシーツー株式会社取締役<br>ITグループ株式会社取締役<br>株式会社エンジェリーベ代表取締役<br>株式会社JG Beauty代表取締役<br>株式会社イデアインターナショナル取締役<br>株式会社馬里邑取締役 |
| 代表取締役社長  | 河野 正  | エムシーツー株式会社代表取締役<br>テックアドバイス株式会社代表取締役<br>アールグループ株式会社代表取締役<br>ITグループ株式会社代表取締役<br>ケーグループ株式会社代表取締役                                                                            |
| 常務取締役    | 吉住 実  |                                                                                                                                                                           |
| 取締役      | 香西 哲雄 | 健康コーポレーション株式会社取締役<br>エムシーツー株式会社取締役<br>ITグループ株式会社取締役<br>株式会社エンジェリーベ取締役<br>株式会社馬里邑取締役                                                                                       |
| 常勤監査役    | 神内 孝元 |                                                                                                                                                                           |
| 監査役      | 山口 均  | 山口均法律事務所所長                                                                                                                                                                |
| 監査役      | 藤川 芳己 | 藤川公認会計士事務所所長                                                                                                                                                              |

- (注) 1. 平成26年2月24日開催の臨時株主総会において、新たに瀬戸健、河野正及び香西哲雄の3氏は、取締役に選任され、同日就任いたしました。
2. 平成25年6月19日開催の第59回定時株主総会終結の時をもって、取締役 熊谷正志氏は、任期満了により退任いたしました。
3. 平成25年6月19日開催の第59回定時株主総会終結において、新たに藤川芳己氏が監査役に選任され、同日就任いたしました。
4. 平成25年6月19日開催の第59回定時株主総会終結の時をもって、監査役 菅井朗氏は、辞任により退任いたしました。
5. 監査役山口均及び藤川芳己の両氏は、社外監査役であります。
6. 監査役山口均氏は、弁護士の資格を有しております。  
監査役藤川芳己氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
7. 当社は監査役山口均及び藤川芳己の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

8. 当事業年度中における取締役の担当の異動は次のとおりであります。

| 氏名   | 異動後   | 異動前        | 異動年月日      |
|------|-------|------------|------------|
| 吉住 実 | 常務取締役 | 常務取締役管理本部長 | 平成26年2月24日 |

9. 当事業年度中に退任した取締役は次のとおりであります。

| 氏名    | 退任年月日      | 退任事由 | 退任時の地位及び担当<br>重要な兼職の状況                            |
|-------|------------|------|---------------------------------------------------|
| 清水 松生 | 平成26年2月24日 | 辞任   | 取締役会長<br>株式会社ゲオホールディングス<br>取締役<br>株式会社ウェアハウス代表取締役 |
| 光安 浩二 | 平成26年2月24日 | 辞任   | 代表取締役社長・営業本部長                                     |
| 高野 泰樹 | 平成26年2月24日 | 辞任   | 取締役総務部長                                           |

## (2) 取締役及び監査役の報酬等の総額

当事業年度に係る報酬等の総額

| 区分               | 員数          | 報酬等の総額           |
|------------------|-------------|------------------|
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 5名<br>(-1名) | 33百万円<br>(-1百万円) |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 4名<br>(3名)  | 9百万円<br>(2百万円)   |
| 合計               | 9名          | 42百万円            |

- (注) 1. 上記の取締役の支給人員と相違しておりますのは、事業年度中の役員の変更及び就任、並びに無報酬の取締役が存在していることによるものであります。
2. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
3. 取締役の報酬限度額は、平成14年6月27日開催の第48回定時株主総会において年額1億円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。
4. 監査役の報酬限度額は、平成14年6月27日開催の第48回定時株主総会において年額150万円以内と決議いただいております。
5. 上記のほか、平成18年6月27日開催の第52回定時株主総会の取締役及び監査役に対する役員退職慰労金の廃止に伴う打ち切り支給の決議に基づき、退任した取締役1名に800万円を役員退職慰労金として支給しております。なお、平成26年3月31日現在の役員退職慰労金に関する長期未払金の残高は取締役1名に対し800万円であります。

## (3) 社外役員に関する事項

- ① 他の法人等の業務執行者としての重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係
- ・ 監査役山口均氏は、山口均法律事務所所長であります。
  - ・ 監査役藤川芳己氏は、藤川公認会計士事務所所長であります。

- ・当社と山口均法律事務所及び藤川公認会計士事務所との間に特別な関係はありません。

② 当事業年度における主な活動状況

|            | 活動状況                                                                                                                                              |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 監査役 山口 均   | 当事業年度に開催された取締役会12回のうち12回に出席し、また監査役会12回のうち12回に出席し、弁護士としての専門的見地から意見を述べるなど、取締役会及び監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。また、経営トップとの定期的な意見交換を実施しております。 |
| 監査役 藤川 芳 己 | 就任後に開催された取締役会10回のうち10回に出席し、また監査役会10回のうち10回に出席し、公認会計士としての専門的見地から意見を述べるなど、取締役会及び監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。また、経営トップとの定期的な意見交換を実施しております。 |

(注) 社外監査役藤川芳己氏につきましては、平成25年6月19日就任後の状況を記載しております。

#### 4. 会計監査人の状況

(1) 名称 瑞輝監査法人

(2) 報酬等の額

|                                | 支払額   |
|--------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額            | 11百万円 |
| 当社が会計監査人に支払うべき金額その他の財産上の利益の合計額 | 11百万円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

(3) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

取締役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査役会の同意を得たうえで、または、監査役会の請求に基づいて、会計監査人の解任または不再任を株主総会の会議の目的とすることといたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## 5. 業務の適正を確保するための体制

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は以下のとおりであります。

- ① 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
  - a. 取締役及び使用人が法令及び定款に適合し、かつ社会的責任及び企業倫理を果たすために常務取締役をコンプライアンス担当役員とし、全役職員に法令遵守の方針を周知徹底させるものとする。また、重要な経営事情については、取締役会もしくは経営会議で審議しなければならない。
  - b. 従業員の業務運営の状況、並びに法令遵守の状況を把握し、その改善を図るために、監査部が内部監査規程に基づき内部監査を実施し、その結果を取締役及び監査役に対し報告するものとする。
  - c. 反社会的勢力排除に向けた体制を構築し、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは一切関わりを持たず、また不当な要求に対しては、断固としてこれを拒否する。
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制  
取締役は、以下の文書（電磁的記録を含む。以下同じ。）については、関連資料とともに、これを少なくとも10年間保管するとともに、必要に応じて閲覧可能な状態を維持する。
  - a. 株主総会議事録
  - b. 取締役会議事録
  - c. 監査役会議事録
  - d. 稟議書並びに設備申請書
  - e. 契約書
  - f. 会計帳簿並びに決算に関する計算書類
  - g. 税務署その他行政機関、証券取引所に提出した書類の写し
  - h. その他取締役の職務の執行にかかる重要書類
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

組織横断的リスク状況の監視・予防並びに全社の対応は管理本部が行い、各部門の所管業務に付随するリスク管理は当該部門が行うものとする。管理本部が、財務リスク・リーガルリスク・システムリスク・情報リスク・ブランドリスク・災害リスク等に関する規程を整備し、運用を図ることとする。

- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制  
取締役は、事業計画の策定、予算・業績管理制度、人事管理制度、会社諸規定等の整備、経営会議等の設置等による意思決定の迅速化を図り、取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するものとする。
- ⑤ 当該株式会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制  
当社は、親会社である健康コーポレーショングループに属している。当社には、経営に対する牽制の強化およびグループ間の経営情報の共有があり、個別の業務執行については自主独立の精神をもって事業に取り組んでいる。当社では、独自の営業展開を行っており、独自の発想に基づいて、他社・他店との差別化を図っている。
- ⑥ 監査役を補助すべき使用人に関する事項  
監査役会が補助使用人を置くことを求めた場合には、監査部の使用人を監査役会の職務を補助する使用人とする。
- ⑦ 前号の補助使用人の取締役からの独立性に関する事項  
補助使用人の人事異動、人事考課、給与改定、懲戒等については、あらかじめ監査役会の事前の同意を要するものとする。
- ⑧ 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制、その他の監査役への報告に関する体制
- a. 監査役は、取締役会ほか重要な会議に出席することができる。
  - b. 取締役及び使用人は、会社に重大な損失を与える事項が発生し、または発生する恐れがあるとき、役職員による違法または不正な行為を発見したとき、その他監査役会が報告すべきものと定めた事項が生じたときは、監査役に報告する。
  - c. 取締役及び使用人は、監査役から要求があった場合には、監査役会に出席して、必要な資料を添えて説明または意見陳述をしなければならない。
  - d. 監査部担当者は、内部監査の結果を遅滞なく監査役会もしくは監査役に報告しなければならない。
- ⑨ その他監査役による監査が実効的に行われることを確保するための体制
- a. 代表取締役は、定期的に監査役と意見交換をする場を設け、監査役による監査の環境を整備するよう努めるものとする。
  - b. 監査役は、監査部並びに会計監査人と適切な連携を図り、効果的な監査業務の遂行を図るものとする。

# 貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目        | 金 額       | 科 目           | 金 額       |
|------------|-----------|---------------|-----------|
| (資産の部)     |           | (負債の部)        |           |
| 流動資産       | 1,280,071 | 流動負債          | 3,644,591 |
| 現金及び預金     | 840,379   | 買掛金           | 166,597   |
| 売掛金        | 130,573   | 短期借入金         | 420,000   |
| 商品及び製品     | 34,372    | 一年内償還予定の社債    | 622,800   |
| 原材料及び貯蔵品   | 76,787    | 一年内返済予定の長期借入金 | 935,850   |
| 前払費用       | 81,553    | 一年内返済予定の長期未払金 | 454,799   |
| 繰延税金資産     | 72,125    | リース債務         | 301,720   |
| 未収入金       | 43,936    | 未払金           | 303,792   |
| その他        | 1,352     | 未払費用          | 103,122   |
| 貸倒引当金      | △1,010    | 未払法人税等        | 30,305    |
| 固定資産       | 8,590,906 | 未払消費税         | 16,912    |
| 有形固定資産     | 7,099,464 | 前受り金          | 67,614    |
| 建物         | 3,291,597 | 預賞金           | 34,843    |
| 構築物        | 41,713    | 賞与引当金         | 29,508    |
| 機械及び装置     | 23,764    | ポイント引当金       | 7,900     |
| アミューズメント機器 | 352,201   | 事業構造改善引当金     | 137,889   |
| 車両運搬具      | 112       | その他           | 10,934    |
| 工具、器具及び備品  | 88,497    | 固定負債          | 4,394,530 |
| 土地         | 2,680,490 | 社債            | 2,012,800 |
| リース資産      | 621,086   | 長期借入金         | 1,488,885 |
| 無形固定資産     | 45,912    | 長期リース債務       | 253,009   |
| ソフトウェア     | 33,034    | 長期前受収益        | 289,975   |
| 電話加入権      | 9,350     | 繰延税金負債        | 12,428    |
| その他        | 2,783     | 長期預り敷         | 106,621   |
| 投資その他の資産   | 1,445,530 | 長期預り保証金       | 62,695    |
| 投資有価証券     | 44,853    | 長期リース資産減損勘定   | 30,764    |
| 出資金        | 1,466     | 長期リース資産除去債務   | 5         |
| 長期貸付金      | 165,529   | 負債合計          | 8,039,122 |
| 長期前払費用     | 39,371    | (純資産の部)       |           |
| 差入保証金      | 1,197,061 | 株主資本          | 1,875,519 |
| その他        | 98        | 資本            | 100,000   |
| 貸倒引当金      | △2,850    | 資本剰余金         | 1,977,770 |
| 繰延資産       | 59,913    | 資本準備金         | 1,128,995 |
| 社債発行費      | 59,913    | その他資本剰余金      | 848,775   |
| 資産合計       | 9,930,891 | 利益剰余金         | △175,446  |
|            |           | 利益準備金         | 61,000    |
|            |           | その他利益剰余金      | △236,446  |
|            |           | 固定資産圧縮積立金     | 138,806   |
|            |           | 繰越利益剰余金       | △375,253  |
|            |           | 自己株式          | △26,805   |
|            |           | 評価・換算差額等      | 11,003    |
|            |           | その他有価証券評価差額金  | 11,003    |
|            |           | 新株予約権         | 5,246     |
|            |           | 純資産合計         | 1,891,769 |
|            |           | 負債及び純資産合計     | 9,930,891 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

（平成25年 4月 1日から  
平成26年 3月31日まで）

（単位：千円）

| 科 目           | 金 額       |
|---------------|-----------|
| 売上高           | 8,245,483 |
| 売上原価          | 1,799,309 |
| 販売費及び一般管理費    | 6,446,174 |
| 営業利益          | 6,177,316 |
| 営業外収益         | 268,857   |
| 受取利息          | 3,028     |
| 受取配当金         | 1,140     |
| アミューズメント機器売却益 | 4,698     |
| 受取保険金         | 8,861     |
| 営業外費用         | 5,035     |
| 支払利息          | 91,038    |
| 社債利息          | 10,756    |
| アミューズメント機器処分損 | 15,481    |
| 休止固定資産関係費用    | 20,889    |
| 雑損            | 19,430    |
| 特別利益          | 17,397    |
| 固定資産売却益       | 116,626   |
| 投資有価証券売却益     | 974       |
| 違約金収入         | 1,229     |
| 移転補償          | 4,340     |
| 資産除去債務戻入      | 1,597     |
| 新株予約権戻入       | 2,091     |
| 特別損失          | 61        |
| 固定資産売却損       | 554       |
| 固定資産除却損       | 17,267    |
| 減損            | 402,515   |
| ドバイザリ一連費用     | 20,784    |
| 解約等精算金        | 4,237     |
| 貯蔵品廃棄損        | 3,835     |
| 店舗閉鎖損         | 2,033     |
| 事業構造改善引当金繰入   | 137,889   |
| 貸倒引当金繰入       | 2,850     |
| 税金前当期純損       | 591,966   |
| 法人税、住民税及び事業税  | 465,044   |
| 法人税等調整額       | 30,350    |
| 当期純損          | △10,555   |
|               | 19,794    |
|               | 484,839   |

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



# 株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から  
平成26年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本  |           |          |           |           |          |          |          |
|-------------------------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
|                         | 資 本 金    | 資本剰余金     |          |           | 利 益 剰 余 金 |          |          |          |
|                         |          | 資本準備金     | その他資本剰余金 | 資本剰余金計    | 利益準備金     | その他利益剰余金 |          | 利益剰余金計   |
|                         |          |           |          |           | 固定資産圧縮積立金 | 繰越利益剰余金  | 合        |          |
| 平成25年4月1日 期首残高          | 948,775  | 1,128,995 | —        | 1,128,995 | 61,000    | 148,295  | 104,356  | 313,651  |
| 事業年度中の変動額               |          |           |          |           |           |          |          |          |
| 固定資産圧縮積立金の取崩            |          |           |          |           |           | △9,488   | 9,488    | —        |
| 当期純損失                   |          |           |          |           |           |          | △484,839 | △484,839 |
| 減 資                     | △848,775 |           | 848,775  | 848,775   |           |          |          |          |
| 自己株式の取得                 |          |           |          |           |           |          |          |          |
| 剰余金の配当                  |          |           |          |           |           |          | △4,258   | △4,258   |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) |          |           |          |           |           |          |          |          |
| 事業年度中の変動額合計             | △848,775 | —         | 848,775  | 848,775   | —         | △9,488   | △479,609 | △489,098 |
| 平成26年3月31日 期末残高         | 100,000  | 1,128,995 | 848,775  | 1,977,770 | 61,000    | 138,806  | △375,253 | △175,446 |

|                         | 株主資本    |           | 評価・換算差額等     |            | 新株予約権 | 純資産合計     |
|-------------------------|---------|-----------|--------------|------------|-------|-----------|
|                         | 自己株式    | 株主資本計     | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 |       |           |
| 平成25年4月1日 期首残高          | △20,987 | 2,370,434 | 989          | 989        | 5,307 | 2,376,731 |
| 事業年度中の変動額               |         |           |              |            |       |           |
| 固定資産圧縮積立金の取崩            |         |           |              |            |       | —         |
| 当期純損失                   |         | △484,839  |              |            |       | △484,839  |
| 減 資                     |         |           |              |            |       | —         |
| 自己株式の取得                 | △5,817  | △5,817    |              |            |       | △5,817    |
| 剰余金の配当                  |         | △4,258    |              |            |       | △4,258    |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) |         |           | 10,013       | 10,013     | △61   | 9,952     |
| 事業年度中の変動額合計             | △5,817  | △494,915  | 10,013       | 10,013     | △61   | △484,962  |
| 平成26年3月31日 期末残高         | △26,805 | 1,875,519 | 11,003       | 11,003     | 5,246 | 1,891,769 |

# 会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成26年5月16日

株式会社ゲオディノス

取締役会 御中

瑞輝監査法人

指 定 社 員 公認会計士 大 浦 崇 志 ㊞  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 瀬 戸 口 明 慶 ㊞  
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ゲオディノスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第60期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第60期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人瑞輝監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成26年5月23日

株式会社ゲオディノス 監査役会

常勤監査役 神 内 孝 元 ㊟

社外監査役 山 口 均 ㊟

社外監査役 藤 川 芳 己 ㊟

以 上

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

#### 1. 剰余金処分の目的

欠損の補填及び早期に復配できる体制の実現を目的として、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

#### 2. 剰余金処分の内容

##### (1) 処分する剰余金の額

平成26年3月31日現在のその他資本剰余金848,775,000円のうち175,446,172円を、繰越利益剰余金に振り替える処理をいたしたいと存じます。これにより振替後のその他資本剰余金の金額は673,328,828円、利益剰余金の金額は0円となります。

##### (2) 減少する剰余金の項目及び金額

その他資本剰余金 175,446,172円

##### (3) 増加する剰余金の項目及び金額

繰越利益剰余金 175,446,172円

##### (4) 効力発生日

平成26年6月24日

## 第2号議案 定款一部変更の件

### 1. 変更の理由

支配株主の異動により、新社名が必要と判断し、社内公募により検討の結果、平成26年7月1日から新商号「SDエンターテイメント株式会社」に変更すべく、第1条の変更を行い、附則をもって効力発生を明確にするものであります。なお、「SDエンターテイメント株式会社」の「S」は当社創業当時のブランド名「スガイ」から、「D」は当社ブランド名「ディノス」からとったものであります。

### 2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

| 現 行 定 款                                                                                                                                      | 変 更 案                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">第1章 総則</p> <p>(商号)</p> <p>第1条 本会社は、株式会社<u>ゲオディノス</u>と称し、英文では、<u>G E O D I N O S C o . , L t d .</u>と表示する。</p> | <p style="text-align: center;">第1章 総則</p> <p>(商号)</p> <p>第1条 本会社は、<u>S Dエンターテイメント株式会社</u>と称し、英文では、<u>S D ENTERTAINMENT, Inc.</u>と表示する。</p> |
| <中略>                                                                                                                                         |                                                                                                                                            |
| <p style="text-align: center;">(新設)</p>                                                                                                      | <p style="text-align: center;">附則</p> <p><u>本定款第1条(商号)の変更は、平成26年7月1日から実施する。なお、本附則は、効力発生日後これを削除する。</u></p>                                  |

### 第3号議案 取締役4名選任の件

取締役全員（4名）は、本総会の終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)            | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当社の株式数 |
|-------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | せとたけし<br>瀬戸健<br>(昭和53年5月1日) | 平成14年7月 個人事業主としてパソコン教材の販売代行を行う<br>平成15年4月 健康コーポレーション株式会社設立 代表取締役（現任）<br>平成19年3月 株式会社ジャパンギャルズ取締役（現任）<br>平成19年7月 株式会社弘乳舎取締役<br>平成19年9月 健康コーポレーション株式会社から分割により旧健康コーポレーション株式会社を設立、代表取締役<br>平成24年2月 グローバルメディカル研究所株式会社（現 RIZAP株式会社）代表取締役（現任）<br>平成24年3月 エムシーツー株式会社取締役（現任）<br>平成24年3月 ITグループ株式会社取締役（現任）<br>平成24年4月 株式会社エンジェリーベ取締役<br>平成24年9月 同社代表取締役（現任）<br>平成25年4月 株式会社JG Beauty代表取締役（現任）<br>平成25年8月 日本リレント化粧品株式会社代表取締役<br>平成25年9月 株式会社アイデアインターナショナル取締役（現任）<br>平成25年9月 株式会社馬里邑取締役（現任）<br>平成26年2月 当社取締役会長（現任） | 一株         |

| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)             | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当社の株式数 |
|-------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | せとたけし<br>瀬戸健<br>(昭和53年5月1日)  | <p>〔重要な兼職の状況〕</p> <p>健康コーポレーション株式会社代表取締役<br/> 株式会社ジャパンギャルズ取締役<br/> 株式会社アスティ代表取締役<br/> RIZAP株式会社代表取締役<br/> エムシーツー株式会社取締役<br/> ITグループ株式会社取締役<br/> 株式会社エンジェリーベ代表取締役<br/> 株式会社JG Beauty代表取締役<br/> 株式会社イデアインターナショナル取締役<br/> 株式会社馬里邑取締役</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             | 一株         |
| 2     | かわのただし<br>河野正<br>(昭和41年3月4日) | <p>昭和62年10月 株式会社新電電ネットワーク<br/> (現 株式会社連峰) 入社<br/> 取締役技術本部長</p> <p>平成7年2月 河商株式会社代表取締役</p> <p>平成12年9月 エムシーツー株式会社代表取締役<br/> (現任)</p> <p>平成17年11月 テックアドバイザー株式会社代表<br/> 取締役(現任)</p> <p>平成20年7月 エムシーツーオフィス株式会社<br/> 代表取締役</p> <p>平成24年1月 アールグループ株式会社代表取<br/> 締役(現任)</p> <p>平成24年3月 ITグループ株式会社代表取締役<br/> (現任)</p> <p>平成25年1月 ケーグループ株式会社代表取締<br/> 役(現任)</p> <p>平成26年2月 当社代表取締役社長(現任)</p> <p>〔重要な兼職の状況〕</p> <p>エムシーツー株式会社代表取締役<br/> テックアドバイザー株式会社代表取締役<br/> アールグループ株式会社代表取締役<br/> ITグループ株式会社代表取締役<br/> ケーグループ株式会社代表取締役</p> | 151,500株   |



| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)                 | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 所有する当社の株式数 |
|-------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3     | よしづみみのる<br>吉住実<br>(昭和31年7月21日)   | 昭和56年4月 当社入社<br>平成7年6月 当社取締役経営企画室長<br>平成14年4月 当社常務取締役経営企画室長<br>平成18年1月 当社専務取締役<br>平成18年2月 当社専務取締役管理本部長<br>平成21年8月 当社常務取締役<br>平成24年6月 当社常務取締役管理本部長兼業務本部長<br>平成25年4月 当社常務取締役管理本部長<br>平成26年2月 当社常務取締役(現任)                                                                                                                                                                                                   | 8,500株     |
| 4     | こうざいてつお<br>香西哲雄<br>(昭和38年12月13日) | 平成元年5月 株式会社エスポ入社<br>平成7年11月 株式会社富士エフ・ピー入社<br>平成12年4月 ザクソン株式会社入社<br>平成13年6月 同社取締役<br>平成16年10月 株式会社ジャパングヤルズ代表取締役<br>平成20年7月 健康コーポレーション株式会社経営企画部長<br>平成20年10月 株式会社弘乳舎取締役<br>平成21年6月 健康コーポレーション株式会社取締役(現任)<br>平成21年6月 旧健康コーポレーション株式会社取締役<br>平成24年3月 エムシーツー株式会社取締役(現任)<br>平成24年3月 ITグループ株式会社取締役(現任)<br>平成24年4月 株式会社エンジェリーベ取締役(現任)<br>平成25年9月 株式会社馬里邑取締役(現任)<br>平成25年11月 日本リレント化粧品株式会社取締役<br>平成26年2月 当社取締役(現任) | 一株         |

| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)                 | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                     | 所有する当社の株式数 |
|-------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 4     | こうざいてつお<br>香西哲雄<br>(昭和38年12月13日) | 〔重要な兼職の状況〕<br>健康コーポレーション株式会社取締役<br>エムシーツー株式会社取締役<br>ITグループ株式会社取締役<br>株式会社エンジェリーベ取締役<br>株式会社馬里邑取締役 | 一株         |

- (注) 1. 取締役候補者瀬戸健氏は健康コーポレーション株式会社等の代表取締役又は取締役を兼務しております。
2. 取締役候補者河野正氏はITグループ株式会社等の代表取締役を兼務しております。
3. 取締役候補者香西哲雄氏は健康コーポレーション株式会社等の取締役を兼務しております。
4. 他の取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

#### 第4号議案 監査役1名選任の件

監査役山口均氏は、本総会終結の時をもって辞任により退任いたします。つきましては、監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| ふりがな氏名<br>(生年月日)              | 略歴、当社における地位<br>(重要な兼職の状況)                                                                                           | 所有する当社の株式数 |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| すがいあきら<br>菅井朗<br>(昭和36年7月28日) | 平成6年3月 公認会計士登録<br>平成7年10月 朝日監査法人(現有限責任あざさ監査法人)入所<br>平成12年7月 公認会計士菅井朗事務所開設<br>平成19年6月 当社監査役<br>平成19年9月 監査法人シドー開設(現任) | 一株         |

- (注) 1. 菅井朗氏は、社外監査役候補者であり、当社は、同氏を東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員である旨の独立役員届出書を提出しております。
2. 社外監査役候補者の選任理由及び社外監査役としての独立性について
- (1) 社外監査役候補者の選任理由
- ① 候補者菅井朗氏は、公認会計士の資格を有しており、会計に関する相当程度の経験、見識を有し、専門的な知識・経験等を当社監査役として経営全般の監視をお願いするとともに、過去の経験を活かした有効な助言をしていただくため、社外監査役として選任をお願いするものであります。
  - ② 同氏は当社または当社の特定関係事業者から多額の金銭その他の財産を受ける予定はなくまた過去2年間に受けていたこともありません。
  - ③ 同氏は当社または当社の特定関係事業者の業務執行者の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者ではありません。
  - ④ 同氏は過去5年間に当社または当社の特定関係事業者の業務執行者となったことはありません。
- (2) 社外監査役としての職務を適切に遂行することができるかと判断する理由について
- 候補者菅井朗氏は、過去に社外役員となること以外の方法で会社の経営に関与された経験はありませんが、公認会計士としての会社財務・税務に精通しており、会社経営に対する監査能力を十分に有していることから、その職務を適切に遂行いただけるものと判断しております。
- (3) 当社は定款に責任限定契約に関する規定を設けておりません。

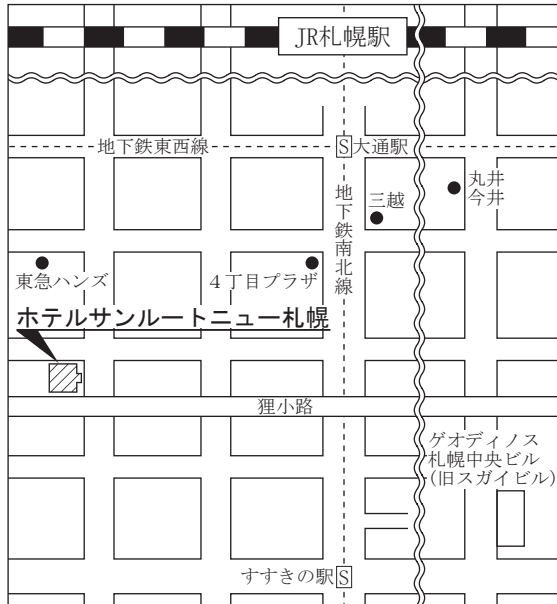
以上

# 株主総会会場ご案内図

会場：札幌市中央区南2条西6丁目

ホテルサンルートニュー札幌 2階羊蹄

TEL. 011-251-2511



## 交通機関

JR札幌駅より車で約10分

市営地下鉄南北線 すすきの駅より徒歩約4分

市営地下鉄東西線 大通駅より徒歩約4分